



野口 昌作 議員

主要作物の収入保険制度は

町長 肯定的にとらえている

【野口昌】本町特産ブロッコリーの秋採りが長雨で壊滅的な被害を受けた。共済制度に代わる収入保険制度が国で検討されているが、どうとらえているか。

【町長】制度の趣旨は肯定的にとらえている。【野口昌】制度化されれば、加入促進と負担軽減のため、助成が必要ではないか。

【町長】助成などについては、国で内容が定まってから、関係機関と協議して進める。



イノシシ鍋を名物に

イノシシ処理施設の支援は

町長 国・県の補助事業を活用して

【野口昌】民間で処理施設の建設を町に申し込んでいくようだ。しかし、場所・販売・人材・経営などの問題が予想される。

【町長】民間が主体となった施設運営を考えた。国や県の補助事業を活用し、支援する。ジビエの特産化などは、運営団体との協議で検討する。



この広い敷地はどうなる

コーナン跡地の利用計画は

町長 活用について検討中

【野口昌】コーナン跡地はさら地になつている。利用計画は。

【町長】適当な案や相手もなく、検討中である。議員からも提案をしていただきたい。

【野口昌】若者のニーズに応えた宅地にしてはどうか。

【町長】提案を実現できるか検討したい。

水道設備の今後は

町長 事業基本計画をもとに



岩井 美保子 議員



水源を大切に(配水池)

【岩井】何十年も経過した水道事業のインフラ整備は。

【町長】現在発注している大山町水道事業基本計画・変更認可設計業務において作成する「大山町水道事業基本計画」をもとに、配管を含む施設の更新整備について経営状況を踏まえ計画的に実施し、安心・安全な水の供給ができるよう取り組む。厚生労働省では長寿命化、耐震化などを考えた計画を策定する予定としている。

【岩井】各地区にある農産加工所の将来は。

【町長】大山農業者トレーニングセンターと名和農業者トレーニングセンター内にある加工所と逢坂農産物加工場は、現在も多数の利用があり、存続していく。

大山小学校の取り組みは

教育委員

成果を世界に発信

クシヨップに授業時間を充てるため、教育課程上の配慮も必要であり、直接学校と協議するよう答えた。

「聞こえるよ!大山のメロデー」は10月26日に全国放送、11月3日に中国地方で、12月4日には世界100カ国以上に放送された。



自然から音を採取

【教育委員長】この事業は平成28年2月2日、NHKの担当者から提案があり、鳥取放送局が開局80周年をむかえる中での企画書の内容が良かった。

また、清川氏とのワー